日本郵政グループ

PRESS RELEASE

2026年 11月 10日
株式会社 かんぽ生命保険

社会課題解決プログラム・第４回「コモれび」寄付先決定
～子ども・若者の居場所づくりに取り組む「うみのこてらす」～

株式会社かんぽ生命保険（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長　大西 徹、以下「かんぽ生命」）は、コモンズ投信株式会社（東京都港区、代表取締役社長　伊井 哲朗、以下「コモンズ投信」）が運営する社会課題解決プログラム「コモれび」の寄付先選考委員会に選考委員として参加しています。このたび、第４回の寄付先として特定非営利活動法人うみのこてらす（徳島県海部郡牟岐町、理事長　川邊 笑、以下「うみのこてらす」）を選定しました。



左から：伊井 哲朗（コモンズ投信代表取締役社長）、川邊 笑（うみのこてらす理事長）、
花田 一成（かんぽ生命執行役）

「コモれび」は、コモンズ投信が運用する「コモンズ・インパクトファンド～共創～」に関連する社会課題解決プログラムで、2023年に開始しました。コモンズ投信は「寄付は未来への投資であり、次世代の未来に社会的リターンをもたらすもの」という理念のもと、同ファンドの信託報酬の一部を原資として、社会課題の解決に取り組む非営利団体へ寄付を行い、活動を支援しています。
かんぽ生命は同ファンドに投資するとともに、この理念に共感し、第１回から本プログラムに参画し、寄付先の選考に携わっています。

第４回は「親と子の『Well-being向上』」をテーマに、コモンズ投信の社内委員会が選定した３団体について、コモンズ投信、かんぽ生命および外部委員で構成する寄付先選考委員会において協議を行いました。その結果、寄付先の活動内容や社会課題の解決に向けた取り組みなどを総合的に評価し、過疎地域で不登校などの困難を抱える子どもや若者に安心して過ごせる居場所を提供し、学習支援や体験活動などに取り組む「うみのこてらす」を寄付先として選定しました。

2026 年 10 月５日（月）にうみのこてらすの事業所内で贈呈式を行い、コモンズ投信から 96 万５千円の寄付金が贈呈されました。また、コモンズ投信では、うみのこてらすのほか、寄付先最終候補となった「認定特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス」および「特定非営利活動法人にわとりの会」にも、それぞれ 12 万円を寄付しました。

かんぽ生命は、すべてのステークホルダーの皆さまに対する社会的責任を果たすという観点から、「Well-being 向上」をサステナブル投資における重点取組テーマのひとつとして位置付けています。

これからも、「いつでもそばにいる。どこにいても支える。すべての人生を、守り続けたい。」という経営理念のもと、全国のお客さま一人ひとりの人生に寄り添い、確かな安心をお届けするため、金融の力で社会課題の解決を後押しする取り組みを進めていきます。

■本件にかかるコモンズ投信のプレスリリース
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000091.000095994.html

＜うみのこてらすについて＞

うみのこてらすは、生まれた地域や家庭、学校によって生じる機会の格差を、出会う大人や地域の力で補い、子ども・若者の可能性を広げる活動を行う NPO 団体です。

代表の川邊 笑氏は、過疎地域では学校生活や家庭環境で困難を抱える子どもの居場所や選択肢が限られるという課題意識から、地元である徳島県で子ども・若者向けの居場所活動を始めました。

主な活動内容として、学校に行きづらい子ども向けのフリースペースの運営、拠点に通えない子どもへの訪問支援、徳島市での中高生向けフリーカフェなどを行っています。

公式 HP：https://www.uminokoterasu.com/

＜コモンズ投信について＞

コモンズ投信は、「一人ひとりの未来を信じる力を合わせて、次の時代をともに拓く」という経営理念のもと、投資を通じて持続可能な社会の創造を目指す独立系直販投信会社です。2009 年１月より長期投資ファンド「コモンズ 30 ファンド」の運用を開始し、「対話による価値創造」を掲げてきました。企業への長期投資に加え、寄付を通じた社会起業家の応援や、地域・次世代との交流などにも取り組んでいます。

公式 HP：https://www.commons30.jp

■「コモンズ・インパクトファンド～共創～」、「コモれび」についてはこちら
https://www.commons30.jp/impact/